

運用指針

第2条③

供用までの期間を短縮したことによる費用の縮減

カメヤマ

コウカツチヤマ

新名神高速道路(亀山JCT～甲賀土山IC)の早期供用

新名神高速道路(亀山JCT~甲賀土山IC)の早期供用

当初計画

【①亀山ジャンクション(JCT)】

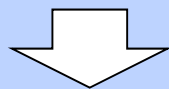
- ・土地収用法による用地取得(平成20年2月まで約23か月間)を予定して供用時期を検討

【②錐ヶ瀧高架橋上部工】

- ・張出し架設ワーゲンを転用で計画
- ・2室箱桁の中央ウェブを標準的なコンクリート構造で計画

【③舗装・施設工事】

- ・標準計画



供用予定日:平成21年3月31日

経営努力による変更

【①亀山ジャンクション(JCT)】

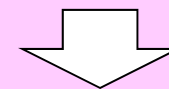
- ・粘り強い交渉を実施して、平成18年5月に任意により用地取得し、亀山JCT部の完成が約13か月短縮

【②錐ヶ瀧高架橋上部工】

- ・張出し架設ワーゲンを同時施工することで工程を短縮
- ・2室箱桁の中央ウェブにプレキャスト部材を採用したことで配筋などの工程を短縮

【③舗装・施設工事】

- ・施工パーティー数を増やしたり、作業時間を延長などにより作業工程を短縮



供用日:平成20年2月23日
(402日の早期供用)

新名神高速道路(亀山JCT~^{カメヤマ}甲賀土山IC)位置図



新名神高速道路 亀山JCT~^{カメヤマ}甲賀土山ICの路線概要

- ・東西の基幹交通を担う大動脈である名神高速道路の代替機能を有する重要路線である。
- ・開通後の交通量は約3万台/日であり、並行する名神高速道路の渋滞緩和や沿線地域の活性化に寄与。

早期供用に向けた全体マネジメント

・クリティカルである亀山JCT部の用地交渉を平成12年5月から開始。
平成17年10月に事業認定申請の事前手続きである「事業説明会」を開催し、
その後も交渉拒否状態があるなどしたが、任意解決に向け鋭意交渉。

・H18.2、H18.5 亀山JCTランプ部用地の任意解決
※H20.2末明渡し → H18.5末明渡し（約21ヶ月短縮）

・H18.5～H18.6において、会社の事業関係者による工程検討を実施
（他のクリティカルへの影響、工程上の課題を抽出し、全体の工程を検討）

・錐ヶ瀧高架橋の張出し架設ワーゲン同時
施工、箱桁橋にプレキャスト部材を採用
（用地任意解決を想定し、詳細設計段階
で工法を変更）（約5ヶ月短縮）

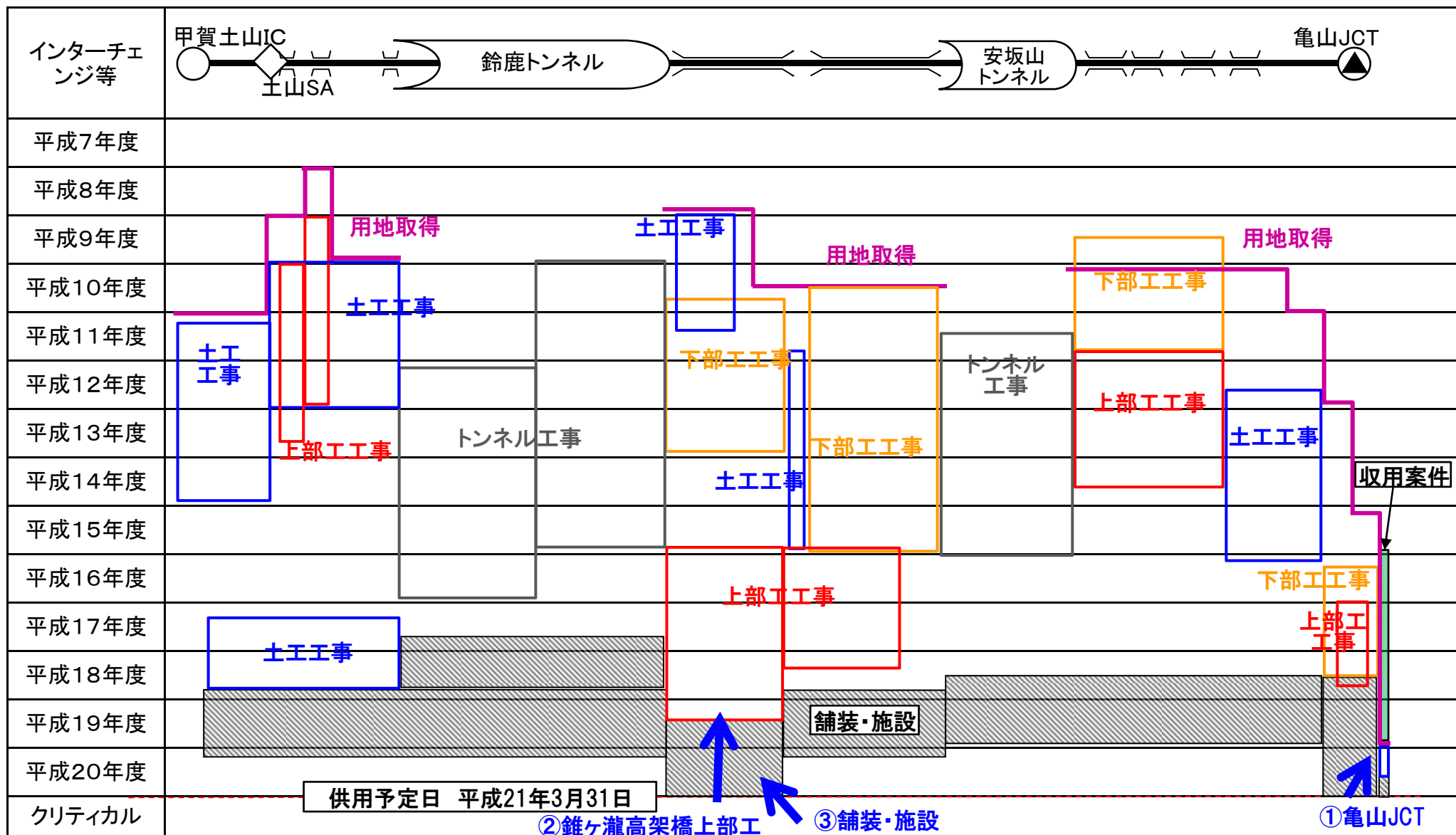
・施工パーティー数増等による舗装、施設工
事の工程短縮
（亀山JCT部約13ヶ月、錐ヶ瀧高架橋部約
8ヶ月短縮）

西日本高速道路(株)の区間との同時供用もあり、綿密な連絡・調整を実施

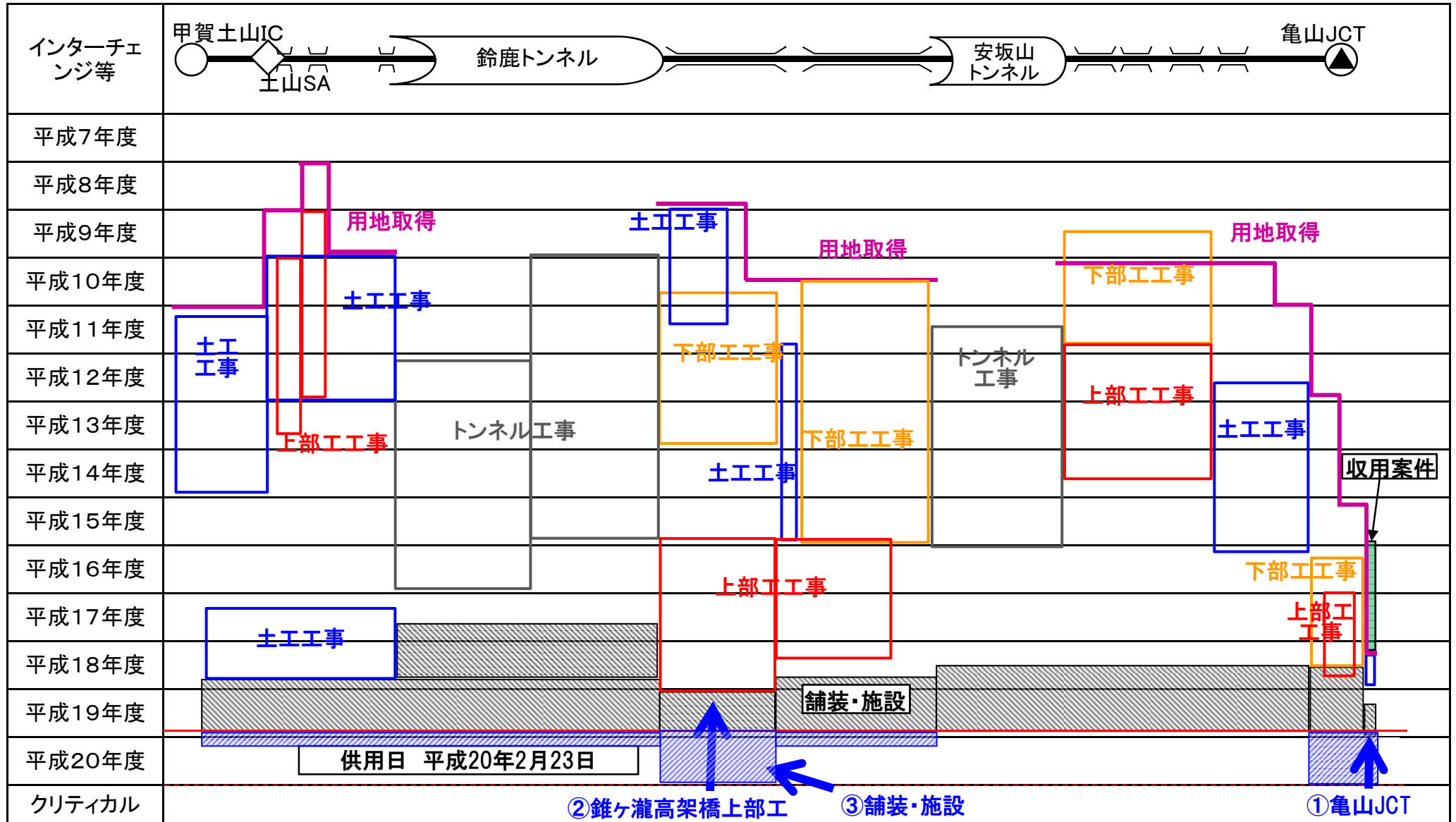
・H20.2を完成目標に、関係者協議、工事等に取り組む

全体マネジメントを行い、早期供用が実現(13ヶ月)

当初工程(新名神高速道路 亀山JCT～甲賀土山IC)



実績工程(新名神高速道路 亀山JCT～甲賀土山IC)



①ー1 亀山ジャンクションの工程短縮

至 大津

- ・会社一丸となって相手側と円滑な交渉を行うべく、関係改善を図った。
- ・関係改善後も、自宅訪問を約束違反と主張する相手に対し、関係維持のため電話での交渉に切り替えざるをえず、限られた条件の中での交渉。
- ・用地取得の契約を金銭契約を進めるとともに、契約後も代替地の斡旋を継続する提案を行った。

等の任意による用地取得を目指し、約170回にも及ぶ交渉を現場事務所、支社等、会社が一丸となって、粘り強く交渉

至 伊勢

至 名古屋

①ー2 亀山ジャンクションの工程短縮

土地収用法による事業認定・収用裁決工程より、平成20年2月明け渡し予定

■当初の工事工程表

	平成17年度												平成18年度												平成19年度												平成20年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
土地収用法による 用地取得工程	[Blue bar spanning all months]																																															
用地取得対象箇所	[Green bar for '切盛土工' and pink bar for '舗装・施設' starting from month 10 of 18th year]																																															
亀山JCTその他の区間	[Green bar for '土工、橋梁工事' and pink bar for '舗装、施設工事' starting from month 10 of 18th year]																																															
開通予定時期	[Red star '完成★' at the end of the timeline]																																															

相手側と円滑な交渉を行うべく会社一丸となって関係改善を図り約170回にも及ぶ粘り強い交渉を実施

会社は任意による用地取得を目指して、交渉を継続。交渉の結果、任意により早期に用地を取得！

■早期用地取得での工事工程表

工事内容		平成17年度												平成18年度												平成19年度												平成20年度											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
工事①	切盛土工 4.2万 ³ m	[Timeline with '用地任意解決▼' at month 6 of 18th year]																																															
工事②	切盛土工 4.8万 ³ m	[Timeline with '用地任意解決▼' at month 6 of 18th year]																																															
亀山JCTその他の区間	[Green bar for '土工、橋梁工事' and pink bar for '舗装、施設工事' starting from month 10 of 18th year]																																																
開通予定時期	[Red star '開通★' at the end of the timeline]																																																

用地の任意解決により、全体で約400日の工程短縮

② 錐ヶ瀧高架橋上部構造変更による工程短縮

■ 架設方法の工夫による短縮

【当初】各橋脚に設置する張出し架設ワーゲンを転用する計画

【変更】複数の橋脚を同時に張出し架設ワーゲンを設置

約3.5ヶ月の工程短縮



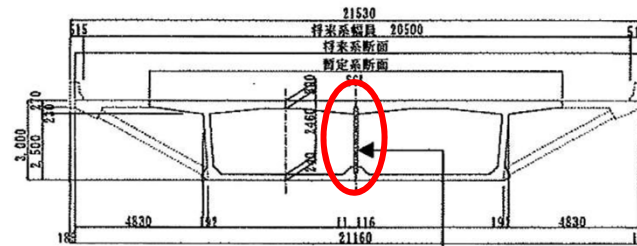
複数の張出し架設ワーゲンによる施工

■ 箱桁中ウェブの材質変更

【当初】箱桁全体と同じコンクリートウェブで計画

【変更】中ウェブにプレキャスト部材を採用することで工程を短縮

約1.5ヶ月の工程短縮



標準断面図

プレキャスト部材

作業内容	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日
緊張	■											
移動作業車据付	■	■										
鉄筋・型枠		■	■	■	■	■	■	■	■	■		
PC組立						■	■	■	■	■		
コンクリート打設							■	■	■	■	■	■
養生											■	■
緊張準備												■

当初:1サイクル12日

変更:1サイクル11日

中ウェブの
プレキャスト部材



約5ヶ月の工程短縮

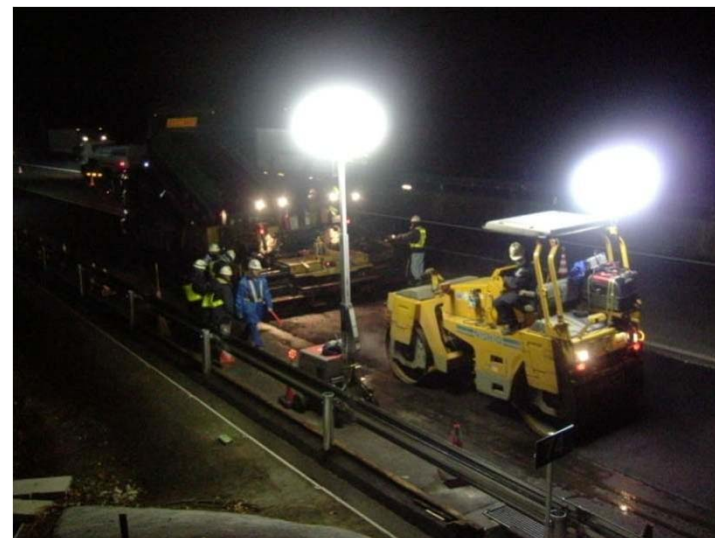
③舗装、施設工事の工程短縮

【舗装工事】

- ①施工パーティー数の増(1パーティー⇒2パーティー)による短縮
- ②日曜・祝祭日の施工や施工時間延長による短縮
 - ・四日市JCTの施工は供用中路線の工事規制時間に制約があり、限られた規制時間を有効に使用するため、準備、後片付けの1時間を増やして対応
- ③舗装プラントの稼働時間延長

【施設工事】

- ①舗装工事①②と同じ
- ②舗装工事との工程調整(重複作業による工程短縮)



亀山JCT部で約13ヶ月、錐ヶ瀧高架橋で約8ヶ月の工程短縮